



2 / 3 4年 算数 数理的な力を高める授業

九九で実感！自分の“変わり方”に気付く時間

4年生の算数では、学習の導入として毎回「九九の百マス計算」に取り組んでいます。教室には「あと1問だった」「ここ計算間違えた…」という声が飛び交い、子どもたちの本気度が伝わってきます。

担任からは「早くやった時に間違える九九を覚えておこう。それが自分の苦手なところだよ」とアドバイスがあり、子どもたちは“速さ”だけでなく“正確さ”にも目を向けるようになりました。

本日は4回目の挑戦。満点ではなくても、前回より約1分半もタイムが縮まった子もあり、自分の成長を実感する姿がとても印象的でした。努力の積み重ねが、確かな自信につながっています。



実際にストローを使って長方形を作り、班ごとに工夫しながら活動を進めました。同じ9本を使っているにもかかわらず、班によって縦と横の本数が違うことに気付いた子どもたち。そこから、「縦が増えると横は減る」「横が増えると縦が減る」という関係に目を向けることができました。

自分たちの手で作り、比べ、気付くことで、表の“変わり方”がぐっと身近に感じられる学習となりました。

ストローで発見！縦と横の“変わり方”

続く「変わり方」の学習では、「表から読み取れることを式で表そう」をめあてに、縦と横の棒の本数を合わせて9本にする表づくりに挑戦しました。

